Sound Cube

iPod/iPhone対応 マルチディレクショナル アクティブスピーカー

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

SP-XA6701

安全上のご注意

本製品は安全に配慮して製造されていますが、誤った使い方をすると、死亡、重傷、傷害などの人身事故、また物的損害を引き起こす原因となり大変危険です。ご使用の前には「安全上のご注意」を必ずお読みになり、記載事項を守って安全に正しくご使用ください。

■故障したら使用しないでください。
本製品が正しく動作せず、「こんなときには」の内容をお読みになり対処しても問題が解消されない場合は、ただちにお客様相談室にご連絡ください。

■万一、異常が発生したときは・・・
本製品が異常に発熱したり、異臭、異音、煙が発生したときは、ただちに使用を中止してください。その後はご使用にならず、お客様相談室にご連絡ください。

使用している表示と絵記号

警告表示、注意表示の意味は次の通りです。

警告	この表示の項目を守らないと、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
注意	この表示の項目を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を表示しています。

絵記号の意味は次の通りです。

	この絵記号は禁止行為の説明を表示しています。
	この絵記号は必ず実行していただきたい行為の説明を表示しています。

警告

本製品を絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。
火災、感電、やけど、故障の原因になります。分解、修理、改造を行った場合は、故障時の保証対象外となります。

本製品の内部に異物を入れないでください。
水などの液体や金属片などの異物を入れると、火災、感電、故障の原因になります。液体や異物が内部に入ってしまった場合は、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品から煙が出たり、異臭、異音などの異常を感じたりしたら、すぐに使用を中止してください。
そのまま継続して使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
衝撃を加えてしまった場合は、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま継続して使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

本製品を濡らしたり、水蒸気や水がかかるような場所で使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。浴室やシャワー室では使用しないでください。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

本製品の近くに水などの入った容器を置かないでください。
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器を置かないでください。こぼれたり、内部に液体が入ると、火災・感電の原因になります。

⚠ 警告

本製品の放熱をさまたげない場所に設置してください。
他の機器、壁等から間隔をとって設置してください。ラックなどに入れる場合はすき間を空け、通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

電源コードを傷つけないでください。
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードや電源プラグが傷んだ状態（芯線の露出、断線、変形など）で使用すると、火災・感電の原因になります。

雷が鳴り出したら、本体やアンテナ線、ケーブル類に触れないでください。
感電の原因になります。

表示された電源・電圧（交流100ボルト）以外で使用しないでください。
表示された電源・電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。本製品を使用できるのは日本国内のみです。

電源プラグの清掃を定期的に行ってください。
電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因になります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電・故障の原因になります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災の原因になります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントは使用しないでください。

電源プラグは抜きやすい位置にあるコンセントに差し込んでください。
万一の場合に備えて、電源プラグはよく見えて容易に引き抜ける位置にあるコンセントに接続してください。

電源コードの上に重い物を載せたり、本製品の下敷きにしたりしないでください。
コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

電池が液漏れしたときは、素手で触らないでください。
液が目に入ると失明の原因になることがあります。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
液がからだや衣服についたときも皮膚の炎症やけがの原因になることがあります。異常が現れたときはただちに医師の診察を受けてください。

本書で指定している以外の電池を使用しないでください。
火災やけがの原因になることがあります。

⚠ 注意

本製品を不安定な場所に置かないでください。
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動する場所に置かないでください。落下したり転倒したりして、けがの原因になることがあります。

高温、多湿、ほこりの多い場所に置かないでください。
窓際や車中など直射日光のあたる場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近くなど油煙や湿気のあたる場所、またほこりの多い場所に放置すると火災・感電の原因になることがあります。

音が歪んだ状態で長時間使用しないでください。
スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

機器に接続するときは、機器の音量設定を最小にしてください。
始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

同梱品以外の電源コードは使用しないでください。
火災・感電の原因になることがあります。また、本製品の電源コードを他の機器に使用することもおやめください。

お手入れをするとき、長期間使用しないときは、電源をはずしてください。
安全のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。電池を取り付けている場合は電池を抜いてください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動させるときは、電源プラグやアンテナ線、接続したコードをはずしてください。
コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。また、接続機器が落下したり転倒したりして、けがの原因になることがあります。

ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置してください。
スピーカーの磁気により色むらが発生することがあります。

梱包袋は安全な場所に保管してください。
製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因になります。

FMアンテナや本体は他のAV機器から離して設置してください。
雑音の原因になることがあります。

電池の+(プラス)と−(マイナス)の向きを正しくセットしてください。
正しくセットしないと、発熱、火災、感電の原因になることがあります。

電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込む恐れがあります。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

古い電池と新しい電池、また種類の異なる電池を混在させて使用しないでください。
破裂や液漏れにより、火災・けがの原因になります。また、周囲を汚損する原因になります。

電池を加熱・分解したり、火や水の中に投下しないでください。
破裂や液漏れにより、火災・けがの原因になります。また、周囲を汚損する原因になります。

電池の+(プラス)と−(マイナス)をショートさせないでください。
コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、発熱、破裂、液漏れにより、火災・けがの原因になります。また、周囲を汚損する原因になります。

電池の異常に気づいたら使用を中止してください。
液漏れ、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたらすぐに使用を中止してください。そのまま使い続けると、電池が発熱・破裂する恐れがあります。

充電式電池を使用する場合は、満充電、使用途中、未充電の電池を混在させて使用しないでください。
発熱、破裂、液漏れにより、火災・けがの原因になります。また、周囲を汚損する原因になります。

■小型充電式電池のリサイクルについて

小型充電式電池はリサイクルできます。不要になった小型充電式電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については、「有限責任中間法人JBRC」のホームページ(http://www.jbrc.net/hp/)を参照してください。

同梱品を確認する

ご使用になる前に以下の同梱品が揃っているか確認してください。

・スピーカー本体

・AC アダプター

・Dock コネクタケーブル

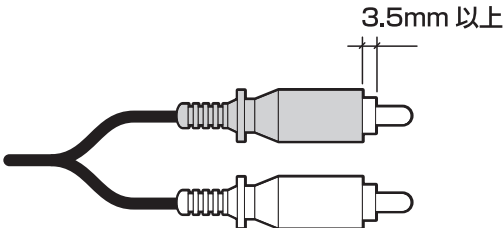
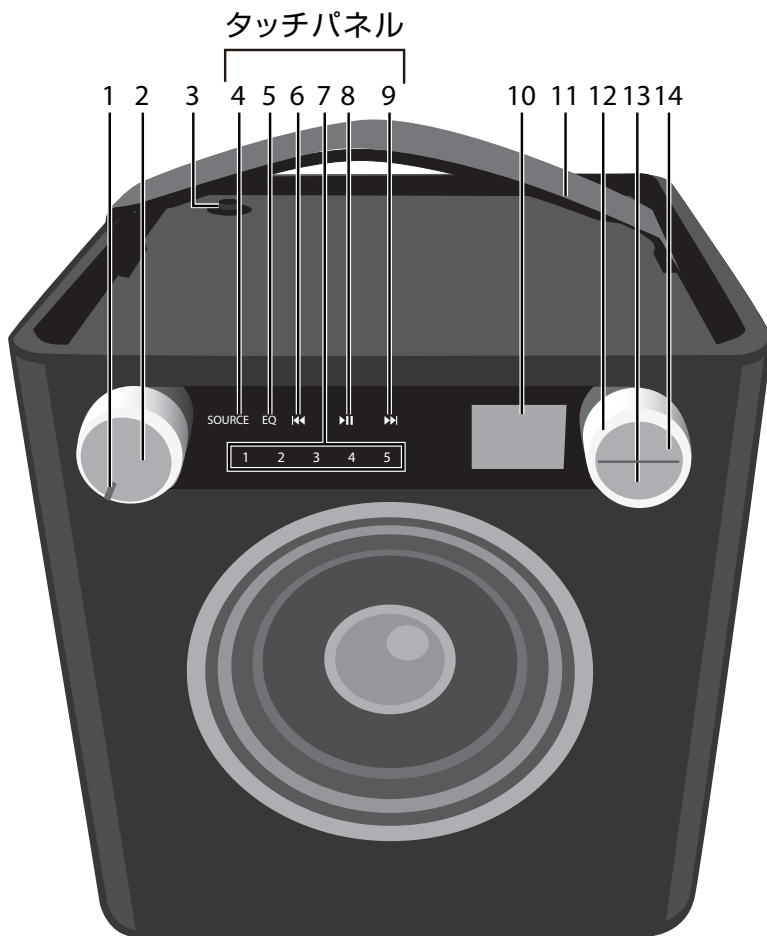
・3.5mm ステレオミニケーブル

・取扱説明書／製品保証書

本製品には電池は同梱されていません。電池でご使用になるときは単 1 形電池を 12 本ご用意ください。

RCA ケーブルについて

RCA ジャックに接続して外部オーディオ機器を使用する場合、RCA ケーブルは下図のようにマイナス側の接点が 3.5mm 程度以上露出しているタイプの製品をお選びください。

前面

1. 電源インジケーター
2. 電源／ボリュームコントロールダイヤル
3. FM アンテナ
4. SOURCE ボタン
5. EQ ボタン（イコライザー）
6. 戻るボタン（ ⏮ ）
7. プリセットボタン
8. 再生／一時停止ボタン（ ⏯ ）
9. 進むボタン（ ⏭ ）
10. ディスプレイ
11. キャリーハンドル
12. SELECT ダイヤル
13. BACK ボタン
14. OK ボタン

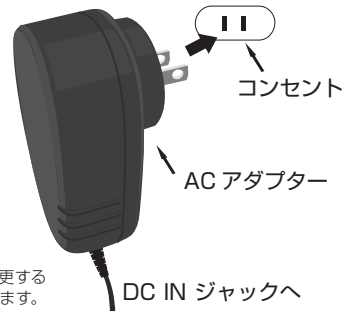
背面

1. DC IN ジャック
2. USB ポート
3. RCA IN ジャック
4. LINE IN ジャック
5. INST ジャック（6.3mm プラグ用）
6. 電池格納部（本機底面）

電源を用意する

AC アダプターを接続する

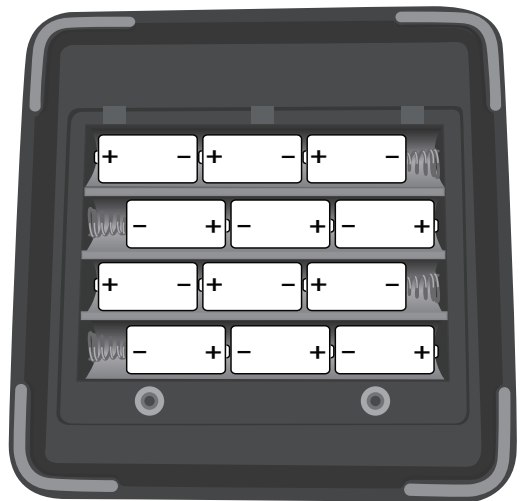
1. AC アダプターの DC プラグを本機背面の DC IN ジャックに挿入します。
2. AC アダプターの電源プラグをコンセントに接続します。

本機に付属の AC アダプター以外は使用しないでください。

本機に電池を取り付ける

単 1 形電池 12 本を本機の電源として使用することができます。電池を取り付けるときは、以下の手順に従ってください。

1. 本機底面にある電池カバーの 2 か所のネジをドライバーで外し、電池カバーを持ち上げて外します。
2. 単 1 形電池 12 本を図のように電池格納部に取り付けます。
   電池格納部に示されている＋と－のマークに電池の向きを合わせてください。持続時間の長いアルカリ乾電池または充電池のご使用をおすすめします。

補足：

- 本機を電池で使用するときは、必ず AC アダプターをDC IN ジャックから外してください。
- 本製品には電池は同梱されていません。ご使用になる前に単 1 形乾電池または単 1 形充電池を 12 本ご用意ください。
- 電池を取り付ける前に、電池の端子と本機の端子を掃除してください。

本機を使用する

次の手順はほぼすべてのモードで共通です。

電源のオン／オフと音量の調節

1

電源／ボリュームコントロールダイヤルを時計回りにゆっくり「カチッ」というまで回します。本機の電源が入り、電源インジケーターが点灯します。

補足：本体のプログラム起動に時間がかかります。

2

電源／ボリュームコントロールダイヤルを時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

電源／ボリュームコントロールダイヤルを反時計回りに「カチッ」というまで回します。本機の電源が切れ、電源インジケーターが消灯します。

自動電源オフ機能

自動電源オフモード

入力信号がない状態で 5 分以上ボタン操作を行わない状態が続くと、自動的に電源がオフになります。

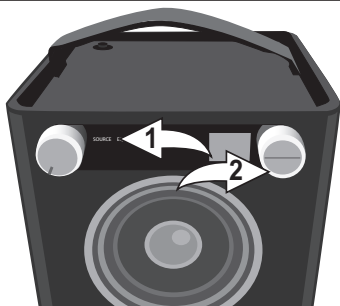
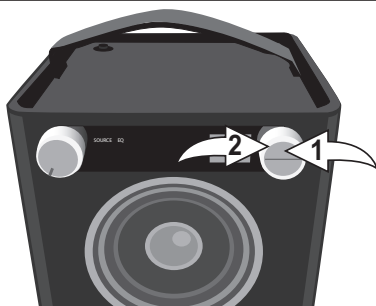
この場合は、電源／ボリュームコントロールダイヤルを反時計回りに「カチッ」というまで回していったん電源をオフの状態にし、再び電源／ボリュームコントロールダイヤルを時計回りにゆっくり「カチッ」というまで回して、電源をオンにしてください。ラジオを再生中には、自動電源オフモードは作動しません。

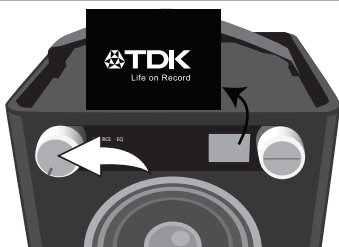
パワーセーブモード

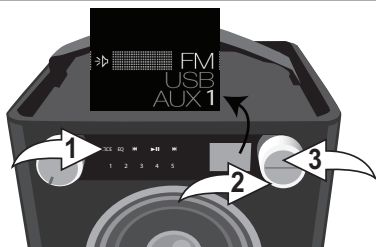
動作中に 5 分以上ボタン操作を行わない状態が続くと、電源インジケーターを除く LED 表示はパワーセーブモードに入ります。

この場合は、電源／ボリュームコントロールダイヤル以外のいずれかのボタンを操作することでパワーセーブモードが解除されます。電源／ボリュームコントロールダイヤルを操作してもパワーセーブモードは解除されません。

	ACアダプター使用時に作動する機能	電池使用時に作動する機能
パワーセーブモード	—	●
自動電源オフモード	●	●
iPod/iPhoneの充電	●	●

EQ 機能

EQ ボタン①を押すと、ディスプレイに低音域が表示されます。SELECT ダイヤル②を回して低音域を調節します。

OK ボタン①を押すと、ディスプレイに高音域が表示されます。SELECT ダイヤル②を回して高音域を調節します。OK ボタン①を押して設定を確定します。または、そのまま数秒間待つと前のメニューに戻ります。EQ 機能は全てのモードを使用中に調節することができます。

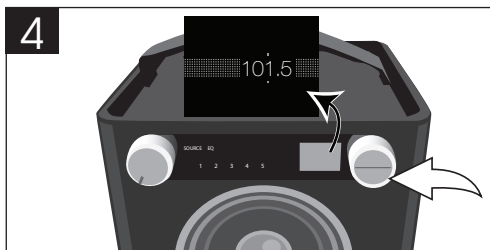
FM ラジオを聞く

電源／ボリュームコントロールダイヤルを時計回りにゆっくり「カチッ」というまで回して、本機の電源を入れます。電源インジケーターが点灯します。

補足：本体のプログラム起動に時間がかかります。

SOURCE ボタン①を押します。ディスプレイに SOURCE メニューが表示されます。SELECT ダイヤル②を使用して FM を選択し、OK ボタン③を押して確定します。

3

ディスプレイに周波数が表示されているときに、OKボタン①を押します。ディスプレイに「Manual Tune」、「Seek Tune」が表示されます。手動で周波数を 1 つずつ調節するときは、SELECT ダイヤル②を使用して Manual Tune を選択します。自動で受信感度の良い周波数を探して表示するときは Seek Tune を選択します。OK ボタン①を押すと選択が決定します。BACK ボタン③を押す、またはそのまま数秒間待つと、周波数の表示に戻ります。

補足：Seek Tune を選択した場合、ダイヤルを回すと Seek を開始します。

4

SELECT ダイヤルを使用して選局します。選択中のラジオ局の受信感度が良いほど長いラインが表示されます（上図を参照）。

必要に応じて、音量とイコライザーを調節します（9、10 ページを参照）。

アンテナ

FM:受信感度を良くするときは、FM アンテナを最大まで伸ばしてから、よく聴こえる方向に合わせます。

ラジオのプリセット設定（FM5 局まで）

1

「FM ラジオを聞く」の手順 1 ～ 4 に従って選局します。設定するプリセットボタン（1 ～ 5 のいずれか）を長押しします。「Saved to #X」（たとえば、「Saved to #3」）とディスプレイに表示されると、プリセット設定は完了です。

プリセット設定を呼び出す

1

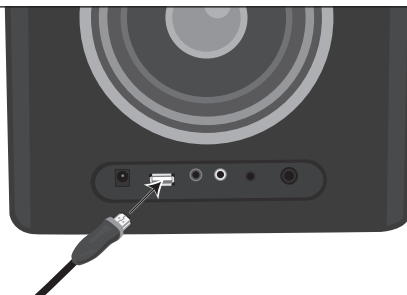
「FM ラジオを聞く」の手順 1 ～ 2 に従って、FM モードを選択します。任意のプリセットボタン（1 ～ 5 のいずれか）を押して、プリセット設定されているラジオ局の放送を聞きます。

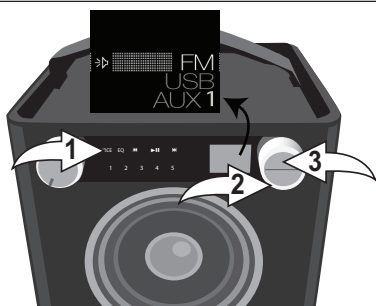
本機で iPod/iPhone を使用する

1

電源／ボリュームコントロールダイヤルを時計回りにゆっくり「カチッ」というまで回して、本機の電源を入れます。電源インジケーターが点灯します。

補足：本体のプログラム起動に時間がかかります。

2

Dock コネクタケーブルを iPod/iPhone に挿入し、ケーブルのもう一方の端を本機背面の USB ポートに挿入します。

3

SOURCE ボタン①を押します。ディスプレイに SOURCE メニューが表示されます。SELECT ダイヤル②を使用して USB を選択し、OK ボタン③を押して確定します。

曲の再生などの操作は iPod/iPhone の操作部で行います。iPod/iPhone の取扱説明書に従って操作してください。

iPod/iPhone の再生に関する注意：

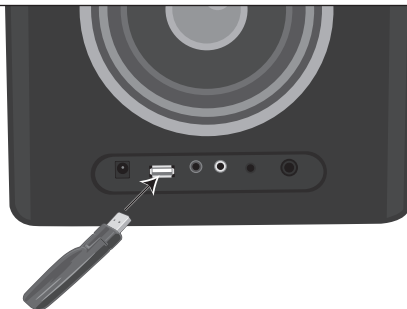
- 詳細な接続方法については、iPod/iPhone の取扱説明書を参照してください。
- 曲の再生操作は iPod/iPhone の操作部で行い、音量は本機の電源／ボリュームコントロールダイヤルで調節します。

USB デバイス（フラッシュメモリーまたはハードディスク）の使用

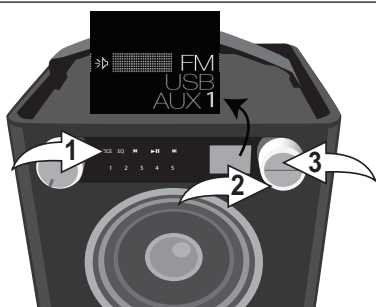
1

電源／ボリュームコントロールダイヤルを時計回りにゆっくり「カチッ」というまで回して、本機の電源を入れます。電源インジケーターが点灯します。

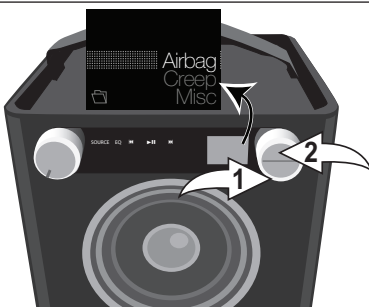
補足：本体のプログラム起動に時間がかかります。

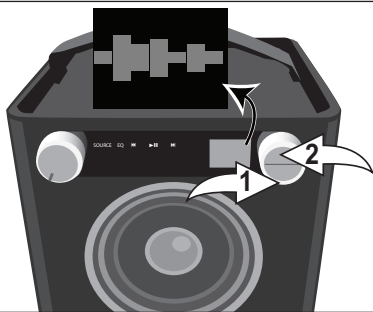
2

USB デバイス（32GB まで対応）を本機背面の USB ポートに接続します。

本機は、320kbps 以下の MP3 ／ WMA ファイルに対応しています。

3

SOURCE ボタン①を押します。ディスプレイに SOURCE メニューが表示されます。SELECT ダイヤル②を使用して USB を選択し、OK ボタン③を押して確定します。

補足：フォルダ名やファイル名が日本語の場合は、ディスプレイに表示されません。

4

複数のフォルダがある場合は、SELECT ダイヤル①でフォルダを選択して、OK ボタン②を押すと、フォルダの内容が表示されます。

5

目的のフォルダの内容が表示されるまで手順 4 を繰り返します。

曲の再生を開始するときは、SELECT ダイヤル①で曲またはファイルを選択して、OK ボタン②を押します。タグが設定されている場合は、曲名がディスプレイに表示されます。

6

再生中の曲を一時停止するときは、再生／一時停止ボタン（▶II）を押します。ディスプレイに「II」が表示されます。もう一度再生／一時停止ボタン（▶II）を押すと、再生が再開します。

選択した曲を再生した後、引き続き同じフォルダの次の曲を再生します。フォルダ内のすべての曲を再生すると、再生は停止します。リピート機能（16 ページを参照）が設定されている場合は、設定されたリピート機能に従います。音量の調節については 9 ページ、EQ 機能の調節については 10 ページを参照してください。

7

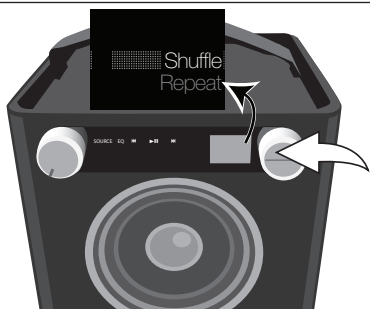
前後の曲を聞く（スキップする）ときは：戻るボタン（I◀◀）①または進むボタン（▶▶I）②を押します。現在のファイル、前のファイルまたは次のファイルの始めへスキップします。

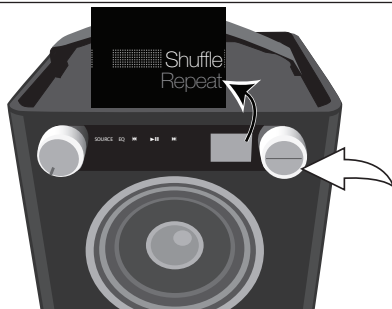
早送りまたは早戻し（サーチ）をするときは：戻るボタン（I◀◀）①または進むボタン（▶▶I）②を長押しします。現在再生中のファイルを早戻しまたは早送りします。

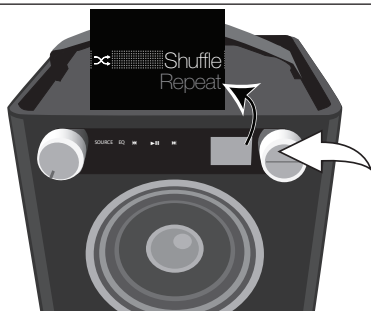
再生に関する注意：

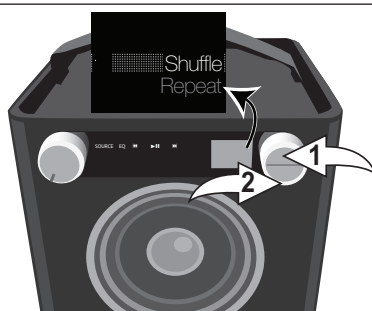
- 詳細な接続方法については、ご使用の USB デバイスの取扱説明書を参照してください。
- メニュー項目を表示しているときに BACK ボタンを押すと、前のメニューに戻ります。
- タイトルやアルバム名は、MP3 形式に録音されるときに設定したタグが表示されます。録音時に正しいタグを設定してください。
- フォルダ名やファイル名が日本語の場合は、ディスプレイに表示されません。

シャッフル再生

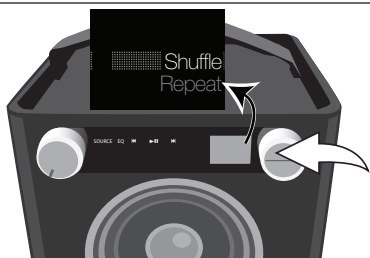
1

USB モードで USB デバイスを接続した状態で、再生または一時停止中に OK ボタンを押すと、ディスプレイに「Shuffle」と「Repeat」が表示されます。

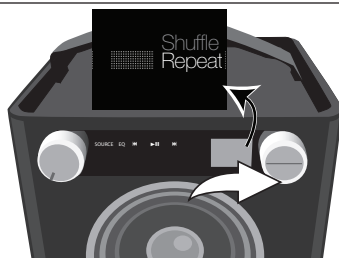
2

SELECT ダイヤルで Shuffle を選択します。

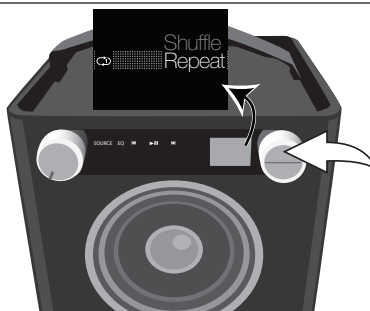
3

OK ボタンを押します。シャッフルインジケーター（⤨）がディスプレイに表示されます。選択したフォルダ内のすべての曲をランダムに再生した後、停止します。

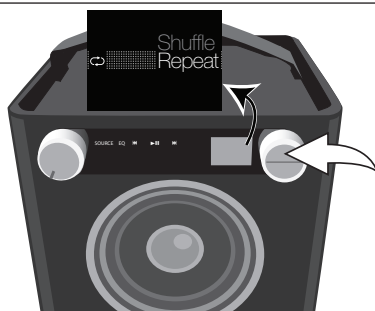
4

シャッフル再生をキャンセルするときは、OK ボタン①を押すと、ディスプレイに「Shuffle」と「Repeat」が表示されます。SELECT ダイヤル②で Shuffle を選択して、もう一度 OK ボタン①を押します。（⤨）が消え、シャッフル再生がキャンセルされます。

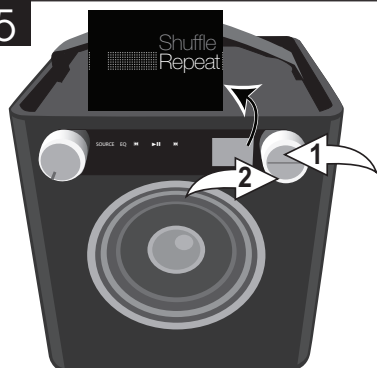
リピート再生

1

USB モードで USB デバイスを接続した状態で、再生または一時停止中に OK ボタンを押すと、ディスプレイに「Shuffle」と「Repeat」が表示されます。

2

SELECT ダイヤルで Repeat を選択します。

3

OK ボタンを押します。リピートインジケーター（ ）が点灯して、選択した曲を繰り返し再生します。

4

OK ボタンをもう一度押します。リピートオールインジケーター（ ）が点灯して、選択したフォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します。

5

リピート再生をキャンセルするときは、OK ボタン①を押すと、ディスプレイに「Shuffle」と「Repeat」が表示されます。

SELECT ダイヤル②で Repeat を選択して、もう一度 OK ボタン①を押します。リピートインジケーターが消え、リピート再生がキャンセルされます。

補足：シャッフル再生とリピートオール再生を同時に行うと、すべての曲をランダムに再生し続けます。

LINE IN または RCA ジャックに接続して外部オーディオ機器を使用する

1

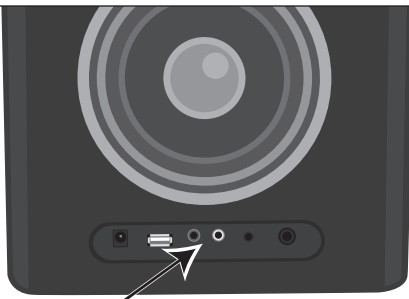
電源／ボリュームコントロールダイヤルを時計回りにゆっくり「カチッ」というまで回して、本機の電源を入れます。電源インジケーターが点灯します。

補足：本体のプログラム起動に時間がかかります。

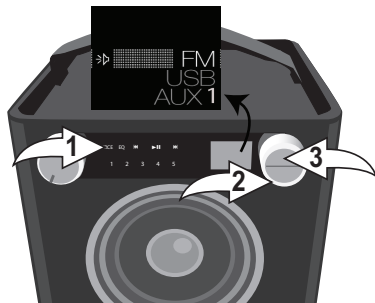
2a

[LINE IN ジャックを使用するとき]

接続ケーブルの一方の端を外部オーディオ機器の AUX/LINE OUT ジャックに挿入し、もう一方の端を本機背面の LINE IN ジャックに挿入します。

2b

[RCA IN ジャックを使用するとき]

ステレオ接続ケーブルを外部オーディオ機器の左右のジャックと本機背面の RCA　IN ジャックの Left と Right に接続します。

3

SOURCE ボタン①を押します。ディスプレイに SOURCE メニューが表示されます。SELECT ダイヤル②を使用して AUX1（LINE　IN ジャックを使用する場合）または AUX2（RCA　IN ジャックを使用する場合）を選択し、OK ボタン③を押して確定します。外部オーディオ機器の再生を開始します。音量の調節については 9 ページ、EQ 機能の調節については 10 ページを参照してください。

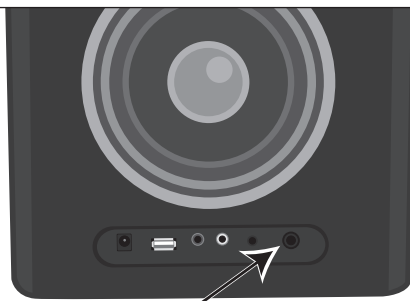
補足：詳細な接続方法については、ご使用の外部オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。

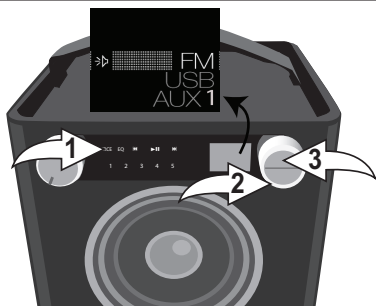
6.3mmプラグ対応の機器を使用する

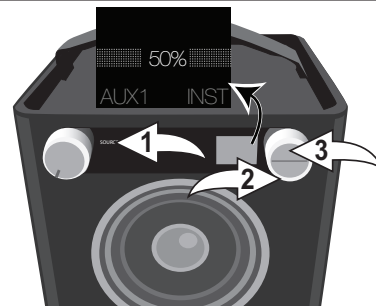
1

電源／ボリュームコントロールダイヤルを時計回りにゆっくり「カチッ」というまで回して、本機の電源を入れます。電源インジケーターが点灯します。

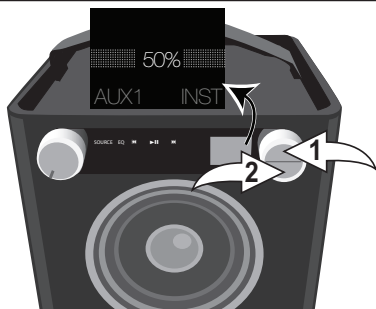
補足：本体のプログラム起動に時間がかかります。

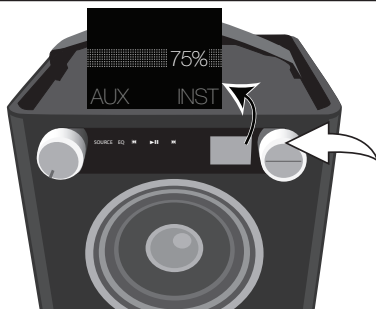
2

接続ケーブルの一方の端を 6.3mm プラグに対応した音響機器の OUTPUT ジャックに挿入し、もう一方の端を本機背面の INST ジャック（6.3mm プラグ用）に挿入します。

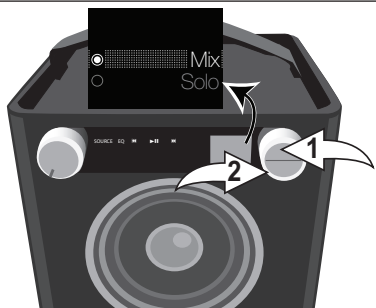
3

SOURCE ボタン①を押して、同時に再生する音源（USB、AUX1 または AUX2）を選択します。ディスプレイに SOURCE メニューが表示されます。SELECT ダイヤル②を使用して、USB、AUX1 または AUX2 を選択し、OK ボタン③を押して確定します。

4

SOURCE ボタン①を押すと、ディスプレイに SOURCE メニューが表示されます。SELECT ダイヤル②を使用して MIX INST を選択し、OK ボタン③を押して、INST モードの選択を確定します。ディスプレイに MIX メニューが表示されます。

補足：詳細な接続方法については、ご使用の音響機器の取扱説明書を参照してください。

5

ディスプレイの MIX メニューが消えた場合は、OK ボタン①または BACK ボタン②を押すと、MIX メニューが表示されます。

6

SELECT ダイヤルを使用して、音響機器と音源の音量のレベルを選択します。たとえば、音響機器を目立たせる場合は、SELECT ダイヤルを時計回りに回して、INST のレベルを上げます。

7

OK ボタン①を押します。ディスプレイに「Mix」と「Solo」が表示されます。

音響機器のサウンドと選択した音源を合成するときは、SELECT ダイヤル②で Mix を選択し、OK ボタン①を押します。ディスプレイに「Mix」と表示されます。

補足：MIX モードで同時に再生する音源として USB が選択されているときは、通常の再生機能を選択できます。

ソロ再生するときは、SELECT ダイヤル②で Solo を選択し、OK ボタン①を押します。ディスプレイに「Solo」と表示されます。音量の調節については 9 ページ、EQ 機能の調節については 10 ページを参照してください。

音が聞こえない

- 電源が入っていることを確認してください。
- 音量の設定が小さい可能性があります。音量の設定を大きくしてください。
- 機能切り替えボタンが押されていない可能性があります。ご使用になりたい機能ボタンを押してください。

音質が悪い

FM ラジオ

- ラジオ局が正しく選局されていることを確認してください。
- FM アンテナの接続を確認し、調整してください。アンテナを伸ばすと受信感度がよくなります。

iPod/iPhone

- Dock コネクタに接続されているか確認してください。
- iPod/iPhone で使用している他のアプリケーションを終了するか、iPod/iPhone を再起動してください。
- iPod/iPhone と LINE 接続して再生し、音質を確認してください。

次のような画面が表示される：

- USB デバイスが USB ポートに接続されていません。正しく接続されているか確認してください。
- USB デバイスが接続されている場合は、本機の電源を入れた状態で USB プラグを取り外し、再度接続し直してください。

- ファイルが破損している、あるいは本製品で再生できないフォーマットのファイルの可能性があります。ファイルの確認をしてください。

- 本製品ではサポートされていない USB デバイスです。ご使用のデバイスの LINE 端子と本機の LINE IN ジャックを 3.5mm ステレオミニケーブルで接続して曲を再生することもできます。

お手入れ

本製品を良好な状態に保つために、定期的にお手入れをしてください。

本製品のお手入れをするときは乾いた布で拭いてください。

補足：ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。

主な仕様

スピーカー . . . . 4スピーカーシステム（2アクティブ、2パッシブ）

出力 . . . . .10W + 10W

入力 . . . . LINE IN（3.5mm ステレオミニジャック）、RCA、6.3mm プラグ

対応デバイス . . . . USB ver. 2.0 規格に対応した iPod、iPhone、
32GB 以下の USB メモリー、ハードディスク

対応フォーマット . . . . MP3、WMA（320kbps 以下のファイルに対応）

電源 . . . . AC アダプター（18V）または単 1 形電池 12 本（別売）

ラジオ受信周波数 . . . . .FM 76 ～ 108MHz

本体寸法 . . . . 約 259mm（幅）x 259mm（奥行き）x 259mm（高さ）

本体質量 . . . . 約 5.7kg

製品の仕様および外観は予告無く変更する場合がありますのでご了承願います。

品名	マルチディレクショナルアクティブスピーカー
原産国	中国
事業者名	イメーション株式会社

iPhone、iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

TDK Life on Record ロゴは、TDK 株式会社の商標です。

保証書

品番	SP-XA6701
お買い上げ年月日	年　　月　　日
保証期間	お買い上げ年月日より1年間
お客様	ご氏名 ご住所　〒 電話番号（　　　）　　−
販売店	販売店名･住所

お客様相談室におけるお客様の個人情報の取扱いにつきまして

ご相談の際にお受けした個人情報は、お問い合わせへの対応およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ユーザー登録のお願い

本製品をご購入されたお客様にはユーザー登録をお願いしております。
TDK Life on Recordのホームページより、オンラインでのご登録を行ってください。
http://www.tdk-media.jp/support/

お問い合わせは **お客様相談室** まで
0120-81-0544
www.tdk-media.jp

保証規定

1. お買い上げの日から1年以内に製造に起因する故障が発生した場合、修理または交換をさせていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合は原則として費用をご負担いただきます。
   - ・操作上の誤り、および弊社によらない修理や改造による故障および損傷
   - ・火災、風水害、地震などの天災による故障および損傷
   - ・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および損傷
   - ・本製品以外の機器が原因となって生じた故障および損傷
   - ・一般家庭用以外（業務用途など）での使用で生じた故障および損傷
   - ・保証書が提示されない場合
   - ・保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入、または領収書や納品書など保証開始時期を証明するものがない場合
   - ・車両･船舶等に搭載された際に生じた故障および損傷
3. 保証の対象外
   消耗･磨耗品は補償いたしかねますのでご了承ください。
4. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
5. 本保証書によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
6. 本保証規定は日本国内でのみ有効です。
   ※This warranty is valid only in Japan.

Made for iPod touch (2nd generation), iPod classic, iPod nano (2nd, 3rd, 4th, and 5th generation), iPhone 3GS, and iPhone 3G.

SP-XA6701